

# 北海道福島町議会

議会・議員評価の充実等による開かれた議会づくり

津軽海峡に面した北海道福島町は、大横綱、千代の山と千代の富士を生んだ「横綱の里」だ。人口約5600人の漁師町。その町議会が溝部幸基議長(60)の就任した99

年以降、「日本一の開かれた議会」を目指している。05年から、議会と議員活動を自己評価しホームページで公表する制度を全国に先駆けて導入し、夜間や土曜に開会するなど、議会改革の成果が認められた。

町議会の議会運営委員会は毎年12月、1年間の議会活動、33項目について



北海道福島町議会が今年3月に開いた夜間議会の傍聴人は50人を超えた＝同町提供

## 日本一開かれた議会

て全国の町村議会と比較し、3段階で評価している。06年度は「長との適正な関係の維持」など24項目が○(おおむね一定

の水準)、「政策立案・審議能力の向上強化」など8項目が△(一部水準に達していない)、「一人(当時)のうち8議員が参加。」「行政」「財政」

など6分野について評価項目を設定し、3段階で自己評価する。評価方法は議員によってまちまちで、溝部議長は「第三者評価が理想だが、小さな町なのでなかなか難しい」と問題点も指摘する。さらに、昼間仕事のある人でも傍聴できるように今年3月の定例町議会では初日を夜間議会とした。日中は数人しかいない傍聴者は50人を超えた。9月には土曜日に臨時会を開くなど、町民参加の拡大に取り組む。溝部議長は「議会も変わらなければ。まだまだ十分とは思っていない」と力を込める。09年度までに改革の成果を盛り込み、議会ルールを明文化した議会基本条例を作るのが目標だ。

【佐野優】